

新庁舎移転に伴う災害対策設備(災害情報電子作戦卓)の導入について

中野区地域防災計画では、「災害対策のあらゆる施策を通じて、防災関係機関等との連携を図り、区民の生命、身体及び財産を災害から保護し、その安全を確保するとともに、発災後の区民生活の再建及び安定並びに都市の復興を図るため、最大の努力を払う」ことを区の責務としている。その具体的な対策として「災害対応能力、自立性・事業継続性の高い区役所の整備を図る」こと、また、「関係機関と連携した災害対策本部運営を実施するため、防災センターの機能強化を進めていく」としている。

新庁舎移転に伴う防災機能強化の取組として、災害対策本部の意思決定の迅速化を目的とし、災害時の各種映像情報等の集約、災対各部とのリアルタイム情報共有が可能となる設備の導入について報告する。

1. 災害対策設備（災害情報電子作戦卓）について

(1) 導入の目的

災害対策本部の意思決定を迅速化させる

(2) 導入設備について

- ① 災害情報電子作戦卓(机に埋め込まれた 65 インチの情報端末)
- ② 災害対策本部長室の大画面ディスプレイ(4画面)
- ③ 災対各部との WEB 会議システム

(3) 概要

様々な情報を電子作戦卓上に一元的に表示し俯瞰する事が可能。電子作戦卓上に表示したものは、災害対策本部長室への映像出力が容易に可能となる。また離れたフロアにいる災対各部とリアルタイムな音声・映像情報のやり取りが可能となる。

【電子作戦卓上で表示する情報の例】

防災用高所カメラ・移動系無線指令局・東京都災害情報システム・河川監視カメラ・河川情報システム・防災気象コンテンツ・気象庁(ナウキャスト)・気象庁(キキクル)・統合型 GIS・MS365 のコンテンツ・ISUT サイト 等

(4) 運用イメージ

別紙「電子作戦卓の運用イメージ」参照

2. 現状の課題と導入の効果

課題①	災害情報把握のために必要な情報を個別に PC 画面などで確認しており、情報の一元把握ができていない。
導入後	災害情報電子作戦卓上で全ての情報を俯瞰できるため、情報の一元管理・整理が可能となる。
具体例	高所カメラ・河川カメラ・災害現場の写真、河川水位・雨量情報、東京都災害情報システム・気象庁 HP など別々の PC 画面で表示させていたものを 1 か所にまとめて俯瞰できるようになり、災対指令部の情報把握が迅速化する。

課題②	災对本部長室での意思決定をすべき状況において、必要な情報をまとめて表示させることができず、迅速な判断ができない
導入後	電子作戦卓に表示された全情報は、災对本部長室へ容易に出力できるため、意思決定に必要な複数の情報を即座に映し出すことができる。災害種別、被害の程度、時系列によって必要な情報を柔軟に表示することができる。
具体例	風水害時において、あらかじめ電子作戦卓に表示させている、①気象庁発表の危険度分布(キキクル)②気象庁発表の雨雲の動き③河川カメラの動画④ハザードマップの 4 つを同時に災对本部長室に映し出す事で、避難指示の発令判断および発令範囲の判断を支援する。

課題③	災対各部との情報共有は、内線電話による口頭での情報や、メモやホワイトボードへの手書き入力による情報となっている。
導入後	離れたフロアにいる災対各部のリアルタイムな音声・映像情報のやり取りが可能となり、双方向の手書き入力なども可能になる。
具体例	人的被害に関わる救援要請などを各災対部へ同時に伝達する。各災対部の活動状況を時系列でまとめた Office ファイルなどを常時災対指令部と共有する。災対指令部は情報を即座に把握し、必要な指示を行う。

3. 他自治体・公共機関での導入事例

品川区、さいたま市(消防局)、長野県上田市、熊本県、大分県、宮崎県、広島県など

4. 今後の予定

令和5年 7月 契約

令和6年 5月 運用開始

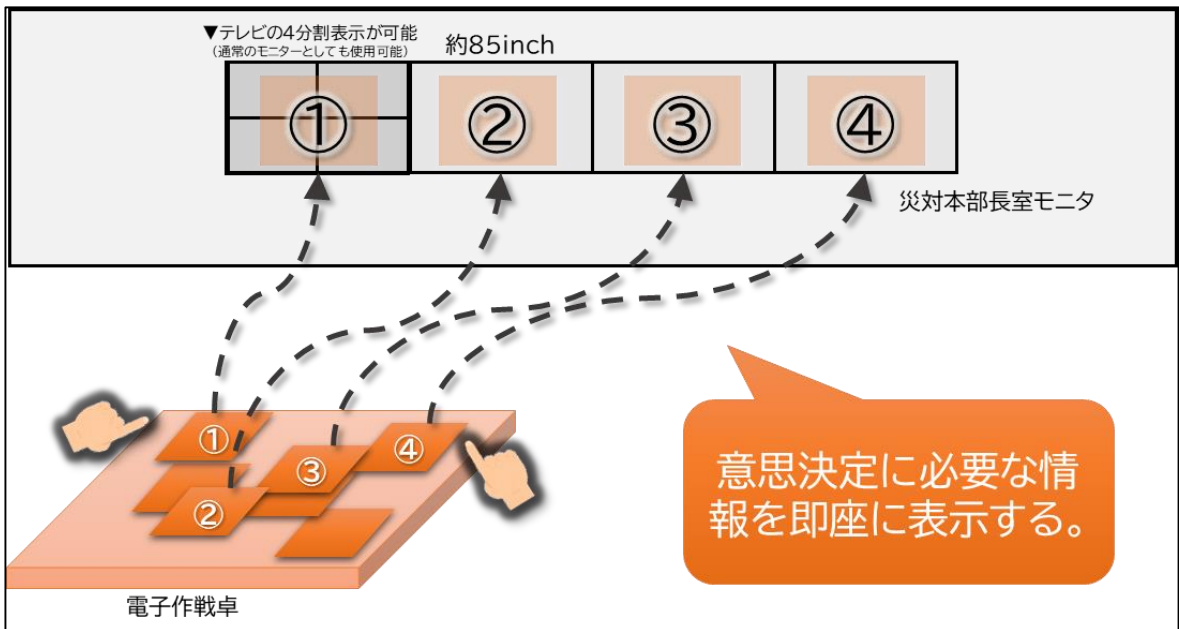
新庁舎移設後は、操作研修や図上訓練などを実施し、実災害時の稼働に向けて準備していく。

別紙 電子作戦卓の運用イメージ

◆外観イメージ



◆運用イメージ(災对本部長室モニタ)



◆運用イメージ(災对各部との情報共有)

